

放射線生命科学講座

講座・部門紹介

当講座は、福島原発事故後の福島県民の低線量被ばくによる人体への影響の調査研究を目的に2011年11月に新設され、低線量域における被ばく線量モニターの開発のため染色体解析による生物学的線量評価方法の確立と精度の向上を図っています。

さらに免疫グロブリン重鎖遺伝子のある14番染色体と他の染色体の相互転座が悪性リンパ腫や多発性骨髄腫の発症の原因の1つと考えられていますが、Bリンパ球の腫瘍化の機序の解明に向け、染色体転座の原因とそれが生じる細胞の特性について研究しています。

staff スタッフ紹介



教授 坂井 晃

修道高等学校（広島県）卒業
昭和61年 愛媛大学医学部医学科卒業
平成5年 広島大学大学院医学系研究科
内科系修了
臨床専門分野
1) 放射線生命医療学
2) 血液腫瘍学
研究分野
1) 放射線生物学
2) 血液腫瘍学（特にリンパ系腫瘍）
趣味：マラソン、水泳、登山、旅行

講座・部門の主な研究内容

- ・低線量被ばくによる染色体への影響解析と生物学的線量評価
- ・正常Bリンパ球由来iPS細胞（BiPSC）を用いた多発性骨髄腫の腫瘍起源異常Bリンパ球の解明

講座・部門からのメッセージ

染色体およびBリンパ球に興味のある方、または広島力一ファン（アンチ巨人）の方はお気軽に立ち寄りください。講座は災害医学・医療産業棟の8階にあり眺めは最高です。